

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、微生物学的検査におきまして *Clostridium difficile*(クロストリジウム・ディフィシル)が分離された場合に、Toxin A および Toxin B の有無も報告することにいたしましたので、取り急ぎご案内する次第です。

Clostridium difficile (クロストリジウム・ディフィシル)は抗菌薬関連偽膜性大腸炎の主要起炎菌であり、院内感染の原因菌としても注目されている菌です。ただし、この菌が検出された場合でも、Toxin A, Toxin B の毒素を有する株のみが臨床的に問題となり、毒素非産生株であれば、治療、感染対策とも不要となります。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

■変更内容

Clostridium difficile (クロストリジウム・ディフィシル)が分離された場合に、Toxin A および Toxin B の有無について下記のいずれかを報告

- ・ Tox A (+)、Tox B (+)
- ・ Tox A (-)、Tox B (+)
- ・ Tox A (-)、Tox B (-)

■変更期日

2014年9月16日(火)受付日分より

以上